

支倉常長フェロー報告書

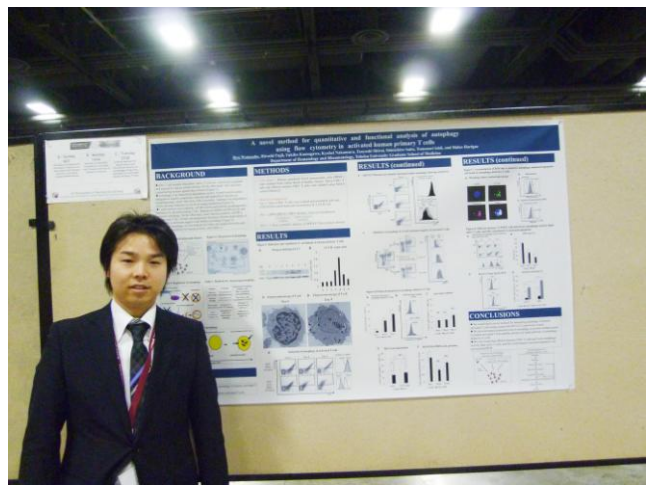
提出日 2012年11月16日



申請者	氏名	渡部龍
	所属・職	血液・免疫病学分野
出張期間	2012年11月8日～11月15日	
渡航先	アメリカ合衆国 ワシントン D.C.	
渡航目的	学会参加・共同研究のための留学・( )	
発表演題名あるいは共同研究課題名	「A novel method for quantitative and functional analysis of autophagy using flow cytometry in activated human primary T cells」	

得られた成果など

2012年アメリカリウマチ学会 (ACR) に参加し、「ヒトプライマリーT細胞におけるフローサイトメトリーを用いた新たなオートファジー定量系の確立と機能的解析」について、報告を行った。多数の質問を受け、Stanford大学のWeyand教授より様々なコメントを頂くことができたことは大変貴重な経験であった。これにより今後の実験の課題や目標が定まり、ますます実験を行う励みとなった。また、「非生物学的製剤で治療を行った関節リウマチ患者における骨破壊の特徴とその危険因子の解析」を長崎大学と東北大学で共同研究を行い、共著者として発表に参加してきた。この発表は日経メディカルオンラインに取り上げられ、インパクトのある内容であったと考えられた。



これらの自分の発表以外にも、ACRでは、①SLEや関節リウマチの最新の治療法などのレビュー、②関節リウマチに対するJAK阻害薬などの臨床研究、③皮膚筋炎で見つかった新たな自己抗体などの基礎研究、④ポスターセッションでの他の研究施設での研究内容など、多岐に渡って多くのことを学ぶことができた。大変有意義な学会参加となった。